



No. 2825

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



担当：中元委員

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創立 昭和34年6月15日
ホームページ http://www.aridarc.jp
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め
ロータリーライフを楽しもう



次回のお知らせ

- 平成29年5月11日 第2827回
- ・外部卓話：藤村 利行 氏
(和歌山県立箕島高等学校 前校長)
 - ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

本日のプログラム

- 平成29年4月27日 第2826回
- ・会員卓話：川口 健太郎 君
「自己紹介」
 - ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告 (第2825例会)

開催日 平成29年4月20日(木)

点鐘 (松村会長)

ゲストの紹介 (井上親睦活動委員長)

ゲスト:伊藤 伸介 様
(陸上自衛隊 信太山駐屯地 広報室長 二等陸尉)
飯田 大輔 様
(陸上自衛隊 信太山駐屯地 広報室 渉外陸曹)

会長の時間 (松村会長)

陸上自衛隊信太山駐屯地の伊藤様、飯田様、お忙しい中、ようこそ有田ロータリークラブにお越しくださいました。ガバナーエレクト事務所から「2017-2018年度 地区の雑誌・公共イメージ委員会委員への出向のお願い」が届いております。脇村重徳君ご指名です。ご本人も快く了承して頂きました。

ガバナー事務所から「2017-2020年周期規定審議会代表議員の候補者の推薦依頼」が届いております。候補者の資格はパストガバナーであることです。当クラブの成川守彦パストガバナーを候補者に推薦したいと思っております。理事会でも承認していただいております。手続要覧によりますと「推薦は、候補者を推薦するクラブの例会で採択された決議という形式で提出されるものとする」とあります。従いまして、この場で候補者の推薦について決議したいと思います。それでは、「2017-2020年周期規定審議会代表議員の候補者に成川守彦パストガバナーを推薦する件」賛成の方は拍手をお願いします。ありがとうございます。賛成多数で採択されました。

先日、有田南ロータリークラブ創立40周年記念例会に出席してまいりました。ゲストは福井ガバナー、岡本ガバナーエレクト、旧IM2組の各ロータリークラブ会長、岡野有

田振興局長、中山有田郡町村会長、上山湯浅町長、広川町の石川総務課長、有田ライオンズクラブの中西会長、有田青年会議所の張道理事長、会員のご家族、そして、韓国の友好クラブでありますソナムロータリークラブから10名の方が来られていました。

来賓の挨拶で、福井ガバナーは、40年間毎週の例会で親睦を深め地域社会に貢献されてきたこと、岡本ガバナーエレクトは毎年地区に委員、役員を出向させ地区の正常化に貢献されたこと等を賞賛しておられました。有田南ロータリークラブの田中良典会員が日本語と韓国語で挨拶し、ソナムロータリークラブの会員を紹介されたことがとても印象的でした。

40年前、私は学生でしたその頃から今日まで歴代の会長がタスキを繋ぎ、毎週例会を重ねてこられた歴史と友情の深さに感激しました。

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

- 第10回定例理事会の報告
 - ①4月・5月の例会プログラムについて 承認
 - ②3月試算表について 承認
 - ③次年度委員会組織について 承認
 - ④地区決議会・審議事項について 承認
 - ⑤桜木の手入れについて 承認
 - ⑥親睦ゴルフコンペについて 承認
- 第5回臨時理事会の報告
 - ①2017-2020年周期規定審議会代表議員推薦について 承認
- 前・米山奨学生のダーラーさんが、母国ラオスへ転勤となりました。今月26日に出国予定です。
- 2017学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーションおよび入学式・懇親会の案内
- 心臓移植の募金のリーフレットを配布&案内
- 岩出RC・田辺東RC週報、他クラブ例会変更(掲示)

出席報告 (児島例会運営委員)

本日の会員数25名
 (出席規定免除会員8名)
 出席会員数20名
 (出席規定免除会員7名)
 83. 33%
 4/6 91. 67%
 MU: 應地君

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君: 陸上自衛隊 伊藤様、飯田様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。伊藤伸介様、卓話楽しみにしています。
 橋爪(誠)君: 伊藤様、飯田様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いいいたします。日々の活動に対して感謝しております。
 上野山(栄)君: 陸上自衛隊の伊藤伸介様、本日卓話よろしくお願いいいたします。
 川口君: 伊藤伸介様、本日の卓話、勉強させて頂きます。宜しくお願いい致します。
 中元君: 伊藤伸介様、本日の卓話よろしくお願いいいたします。
 橋爪(正)君: 伊藤様、遠方の所、わざわざお越し下さりましてありがとうございます。
 井上君: 伊藤様、ようこそ有田RCへ。
 嶋田(崇)君: 伊藤さん、卓話有難うございます。
 橋本君: 伊藤伸介様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いい致します。
 上野山(捷)君: 伊藤伸介様、お忙しいところ、ようこそ有田RCへお越し下さりまして有難うございます。本日の卓話よろしくお願いいいたします。

卓話

「陸上自衛隊の災害派遣等」



陸上自衛隊
 信太山駐屯地
 第37普通科連隊
 広報室長・2等陸尉

伊藤 伸介 様

平素より第37普通科連隊及び信太山駐屯地に対し、格別のご厚誼を賜り深く感謝申し上げます。
 陸上自衛隊への益々のご理解いただけるよう、陸自の災害派遣実績、過去の大災害の概要から紹介して、平素の災害派遣対処及び第37普通科連隊が毎年実施している連隊機動展開訓練を紹介いたします。しかしながら、自衛隊の主たる任務は、国防であることへのご理解、お

願いいいたします。
 陸上自衛隊の災害派遣件数は、平成19年度以降、年間約200から300件で推移しております。全体の8割は、緊急患者空輸が占めています。災害派遣の形態は、地震、風水害、火山噴火、山林火災、雪害等があります。そのほか自然災害でなく地下鉄サリン事件、重油流出、鳥インフルエンザ等もあります。

過去の大災害から説明します。東日本大震災の特性として3つが挙げられます。

- ・津波による広域・甚大な被害がもたらされたこと
- ・原子力災害との複合事態であったこと
- ・地方自治体はその機能を失うほどの激甚災害であったことが挙げられます。

また本震災対処上の特性としては4つ挙げられます。

- ・初の統合任務部隊を編成したこと
- ・初の予備自衛官を招集したこと
- ・米軍による救援活動が実施されたこと
- ・震災対処と原子力災害対処の2正面であったことが挙げられます。

自衛隊は陸海空の総力を結集し、『最後の砦』として本震災対処にあたりました。災害救助法適用地域は阪神・淡路の約66倍、死者、行方不明者の搜索地域は約16倍となっています。

阪神・淡路大震災は、平成7年1月17日午前5時46分、つまり真冬の早朝という死傷者が発生しやすい時間帯に大都市である神戸市を中心に発生したものです。死者は約6,500人、負傷者は約4万人、全壊及び半壊家屋を併せ46万戸という近年の災害では未曾有の大惨事となりました。3ヶ月強にわたる派遣期間の間に人員約170万人、車両約35万両、航空機約7,000機が投入されました。内約22万人、約8万両、約1,600機の勢力が北海道、東北、関東、九州から投入されました。この阪神淡路大震災時の対応の反省を反映して、この後自衛隊の災害派遣に関する手続の簡素化、自主派遣の判断基準の明確化、応急対策活動時の自衛官の権限拡大(警告・避難措置、立入制限、土地等への立入、工作物等の使用等)が図られるとともに、ヘリコプター映像伝送装置、人命救助システム等が導入されました。

続いて阪神淡路大震災から9年後に発生した新潟県中越地震ですが、この地震は、平成16年10月23日午後5時56分に発生しました。この震災の特性は山間部における震災であり、土砂災害を伴う地域の孤立や水害が併発したことで、死者40人、負傷者約4,500人、全壊及び半壊家屋を併せて14,000戸という、先の阪神淡路大震災に次ぐ災害規模となりました。約2ヶ月の派遣期間に派遣された人員は延べ116,000人、車両は約30,600両、航空機は600機に及びました。本災害派遣においては、新潟県を警備区域として持つ東部方面隊のみならず、他方面隊やヘリ団、通信団等の長官直轄部隊からの戦力集中により、東部方面隊の情報収集、人命救助、給食・給水、通信等の態勢を強化しました。

次に平成19年7月に発生した新潟県中越沖地震について説明します。

平成19年新潟県中越沖地震は、7月16日午前10時13分、柏崎市沖を震源とし、震度M6.8(震度6強)、震源

の深さ約17kmで発生しました。発災した時間が昼間で食事の時間ではなかったことから人的被害は平成16年の中越地震ほどではなかったものの、柏崎市と刈羽村のライフラインに大きな被害をもたらしました。特に水道は完全復旧までに約半月、ガスは完全復旧までに約1ヶ月半を要しました。45日間にわたる派遣期間における派遣規模は、人員約86,000人、車両約32,500両、航空機約1,200に及びました。

伊豆大島災害派遣は、平成25年10月16日、台風26号の本邦接近に伴い、東京都大島町において土砂災害が発生し、大きな被害をもたらしました。自衛隊は同日、東京都知事からの災害派遣要請を受けて災害派遣を開始しました。その後、台風27号による2次被害を考慮し、東部方面総監を統合任務部隊指揮官とする統合任務部隊を編成し、約1,000名規模で災害派遣を行いました。本災害の特性は、

- ・島嶼災害であったこと
 - ・土砂災害による被害が発生したこと
 - ・台風27号による2次被害の恐れがあったこと
- の3つが挙げられます。また、本災害対処の特性として
- ・東日本大震災に次ぐ統合任務部隊を編成したこと
 - ・1,000人規模の部隊の統合輸送による機動展開を行ったこと
 - ・輸送手段や展開戦力、通信等の基盤が制約された中での活動を行ったこと

の3つが挙げられます。自衛隊は陸海空の総力を結集し、統合作戦によりこの島嶼災害への対処にあたりました。

御嶽山噴火による災害派遣ですが、本噴火災害は、長野県と岐阜県に跨る御嶽山において発災したものであり、9月27日から約20日間、災害派遣を実施しました。作戦基本部隊は、12B派遣部隊、基幹であり、空地からの人命救助及び行方不明者捜索等の活動を実施しました。活動規模は、延べ約22,200名、最大600名にも及びました。

広島県広島市の土砂災害に係る人命救助ですが、本災害の特性として土砂災害で、住宅地での活動となり、緩んだ斜面からの土砂崩れによる2次災害に警戒しながらの人命救助になりました。本災害は、中国地方の防衛・警備担当の13旅団基幹で行いました。約3週間の災害派遣を実施しました。人命救助、行方不明者捜索、入浴支援を実施しました。活動規模は、延べ約15,500人、最大約960名にも及びました。

最後に、関東・東北豪雨に係る災害派遣ですが、本災害の特性は局地的な地域の河川の堤防の決壊で、テレビでのヘリから救助隊員が降下し救助をしていたのは、皆様にも鮮明に残っていると思います。対処の特性として、空路・水路からの救助活動を実施しました。早い情報提供からの初動対処で救援を実施しました。日数的には短いですが、航空機を多用した派遣でもあります。

このような、いつ、何が起きてもおかしくない災害対処のなかで、当第37普通科連隊も「ファストハウス」と呼び35名が、24時間態勢で何かあったら、命令受領後、1時間以内に出動できるように昼間は、訓練し、夜間は待機しています。

第37普通科連隊にとっても南海トラフ巨大地震への即応は喫緊の課題であると認識しています。このため、連隊と致しましても、ここ近年、連隊機動展開訓練として、連隊の各中隊をそれぞれの隊区において、現地による車両機動、情報収集伝達訓練(和歌山全域に無線通信可能)、支援物資運搬訓練、徒步行進訓練、水難救助訓練、渡河訓練等を行いました。是非、今年も行いますので、応援いただければ、隊員もがんばれます。

我々のもてる能力を十分に発揮するためには、皆様のご協力とご理解が不可欠です。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

